

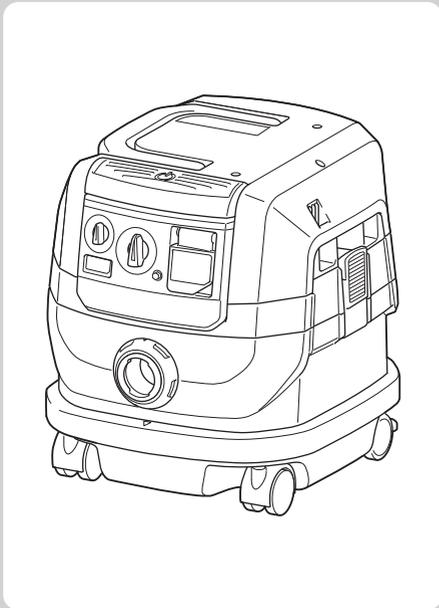


取扱説明書

集じん機

モデル VC0840

(粉じん専用・無線連動機能付き)



このたびは集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

簡易マニュアル	別紙
主要機能	2
安全に正しくお使いいただくために	3
集じん機の安全上のご注意	4
本製品の使用上のご注意	6
ワイヤレスユニットの使用上のご注意	9
各部の名称	11
標準付属品	12
別販売品のご紹介 (ホース)	13
・コードインホース/スパイラルコードホースの接続方法	
別販売品のご紹介 (フィルタ、ノズルなど)	15
別販売品のご紹介 (電動工具との接続)	16
・集じん機と電動工具の接続について	
・日立工機製電動工具と接続する場合	
別販売品のご紹介 (ホースの延長)	25
・標準付属品ホースを延長する方法	
パウダフィルタの使い方	26
・パウダフィルタの取り付け方	
・ポリ袋の取り付け方	
・粉じんの捨て方	
・パウダフィルタのお手入れ	
ホースの取り付け方	30
・ホースの取り付け方	
スイッチの操作	31
・連動の手順	
無線連動機能	34
・無線連動の準備	
・無線連動	
・機器登録	
・登録解除	
・登録全消去	
・無線ランプについて	
・トラブルシューティング	
付属品の使い方	41
・マルチフックの使い方	
・ホースバンドの取り付け方	
運搬	43
・取っ手の使用方法	
・キャスタの固定・解除	
別販売品の取り付け方	44
・クロスフィルタの取り付け方	
・水用フィルタの取り付け方	
・紙バックの取り付け方	
保守・点検について	47
・本製品のお手入れ	
・保管場所について	
・ご修理の際は	



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地(アース)してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて(電気用品安全法適用外の製品)製造されております。

主要機能

主要機能	モデル	VC0840
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		11 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,050 W
最大風量		1.9 m ³ /min
最大真空度		26 kPa
最大吸込仕事率		220 W
集じん容量		8 L
連動用コンセント (接続可能な電動工具の消費電力)		100 ~ 1,050 W
本製品寸法	長さ	366 mm
	幅	334 mm
	高さ	368 mm
質量		7.4 kg
絶縁構造		シングル絶縁

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ Bluetooth® について Bluetooth®

Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

安全に正しくお使いいただくために

注意文の  警告 ・  注意 ・  注 の意味について

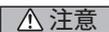
ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

集じん機の安全上のご注意

JPA009-2

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 作業に合った集じん機を使用してください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近づけないでください。また、重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。
7. 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
8. 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
9. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

10.油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

11.損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、本製品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 部品交換や修理は、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど
- ・ すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

12.正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

13.集じん機の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

本製品の使用上のご注意

JPB256-3

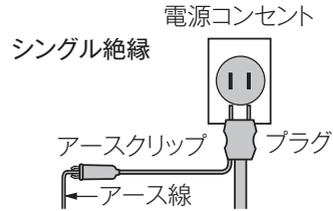
先に集じん機としての共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

[シングル絶縁構造製品]

1. 必ず接地（アース）してください。

- ・ 故障や漏電のとき、感電する原因になります。
- ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- ・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）

アース付（3ピン）電源コンセント



- ・ 2極電源コンセントの場合 アースクリップをアース線に接続してください。
- ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと本製品の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
- ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。

2極電源コンセント



- ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されませんことをおすすめします。
- ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- ・ 爆発の恐れがあります。

3. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。

- ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

⚠ 警告

[シングル絶縁構造製品、二重絶縁構造製品共通]

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 爆発性および発火性の環境下では使用しないでください。
4. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ（粉じん専用集じん機の場合）

動物などの排泄物、吐しゃ物

5. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
6. 定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
 - ・ 併用すると異常発熱による火災の原因になります。
7. 本製品を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
8. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

[シングル絶縁構造製品、二重絶縁構造製品共通]

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本製品の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
3. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 急に本製品が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
4. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モータ焼損など、故障の原因になります。
5. フロートが作動したまま運転しないでください。
例：作業者がいない状態でポンプとして使用する。
 - ・ モータの温度が上昇し、部品の変形やモータ焼損など、故障の原因になります。
6. クロスフィルタで繰返し大量の吸水をすると吸水量が著しく低下します。
繰返し大量の吸水をする場合は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタの使用をおすすめします。
7. 湿式ノズルを使用する時は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタを必ず使用してください。
 - ・ 本製品の故障の原因になります。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。
- ・ 集じん機と工具を連動で使う場合は 2.0 mm² の延長コードの使用をおすすめします。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

JPB257-2

集じん機に内蔵されているワイヤレスユニットは取りはずしはできません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

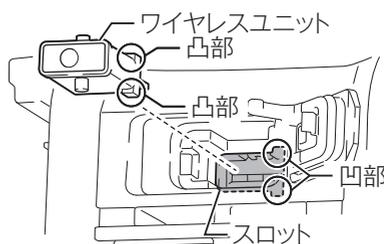
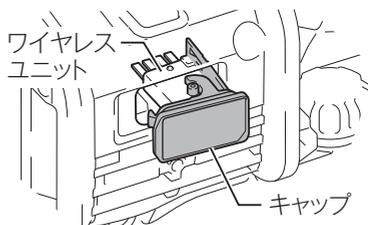
1. バッテリーが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50℃ を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
 - ・ 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押ししたりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付けければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

⚠ 警告

20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
 - ・ 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。
21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間には障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
 - ・ 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

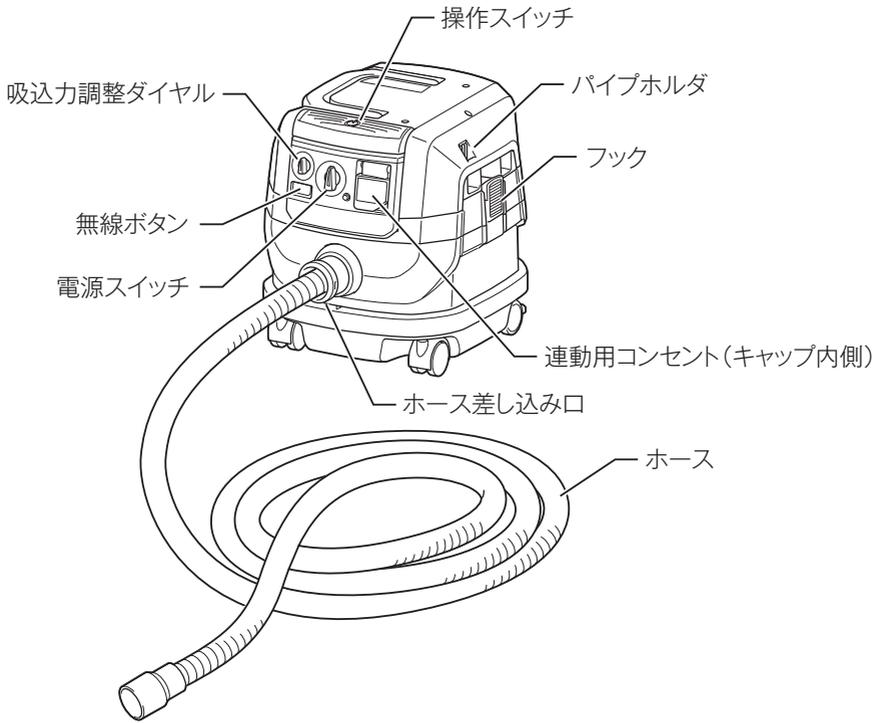
⚠ 注意

1. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
2. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を併せて参照してください。
3. 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
4. スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
5. ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
6. ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に差し込まないでください。
7. キャップが開いた状態で使用しないでください。

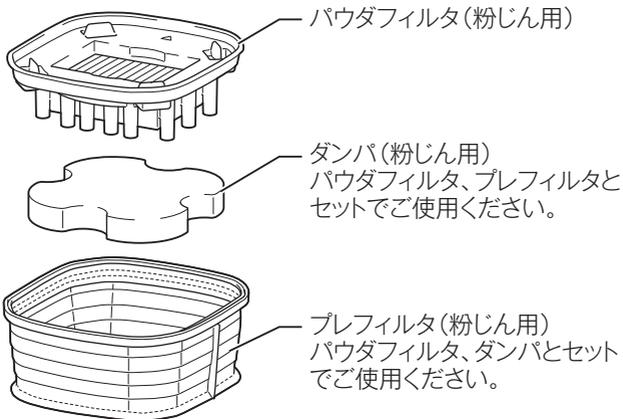


※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

各部の名称



[本製品取り付け部品]



標準付属品

部品名称	部品番号
ホース（内径φ 28 mm × 5 m）	A-34229
フック付きホースバンド（1 個）	141873-3
ホースバンド（2 個）	166116-2
フロントカフス 22	417765-1
ジョイント H（日立工機製電動工具との接続用） ※別販売品の項を参照ください。 （日立工機製ジョイントが必要なモデルもあります。）	424009-2
パウダフィルタ（本製品取り付け）	A-65062
プレフィルタ（本製品取り付け）	A-65084
ダンパ（本製品取り付け）	A-65078
アクセサリバッグ （ホース、パイプなどの付属品をまとめて入れておくことができます。）	A-46040
ポリ袋（1 枚） （本製品取り付け） （650 mm × 650 mm）	—
ポリ袋セット品（10 枚入） （650 mm × 650 mm）	A-45777

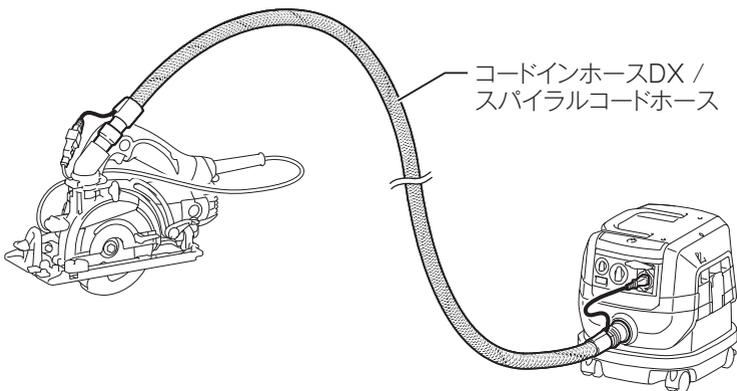
別販売品のご紹介（ホース 1/2）

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ホース

口元ロック式ホース		内径 (mm)	長さ (m)	部品番号
本製品に直接接続してください。	ホースアッセンブリ	φ 19	5.0	A-34394
	ホースアッセンブリ	φ 28	2.5	A-51306
	デラックスホース	φ 28	5.0	A-30623
	ホースアッセンブリ	φ 28	5.0	A-34229
	コードインホース DX	φ 28	5.0	A-50136
	スパイラルコードホース	φ 26	5.0	A-65121
	ホースコンプリート	φ 38	2.5	A-33532
	ホースコンプリート	φ 38	5.0	A-33417

コードインホース / スパイラルコードホースの接続方法

- ・ 取り回しが楽なコード内蔵の集じん機用ホースです。
- ・ 連動コンセント付集じん機とショートコード仕様の電動工具との間に接続できます。
- ・ 集じん機への接続はホースをホース取り付け口、プラグを連動コンセントにそれぞれ接続します。
- ・ 電動工具への接続は電動工具のジョイント形状によりフロントカフス 22 または 38 を取り付けたホースをダストノズル、プラグを電動工具のプラグに接続します。



別販売品のご紹介（ホース 2/2）

注

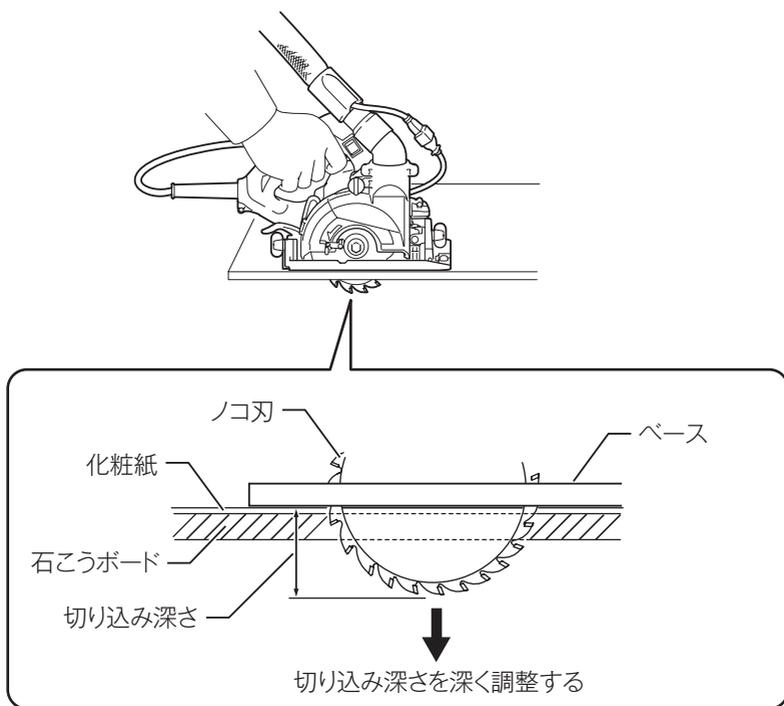
コードインホース / スパイラルコードホースを使用する場合

- 石こうボード切断時は、刃物の状態や切り込み深さ、被削材などの諸条件により石こうボードに貼られた化粧紙が細長く切断され、ホース詰まりの原因になる場合があります。

このような場合、切り込み深さを深く調整してご使用ください。

ホース詰まりを緩和することができます。

石こうボード切断時は、スパイラルコードホース（A-65121）をおすすめします。



別販売品のご紹介（フィルタ、ノズルなど）

部品名称		部品番号
水用フィルタ ※ 1 (水、湿った粉じんなどを吸引するときにご使用ください。)		A-65109
クロスフィルタ ※ 1		A-65090
パウダフィルタ (粉じん用。コンクリート、石材の粉じんなど、細かいものを吸引するときにご使用ください。 プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。)		A-65062
プレフィルタ (粉じん用。パウダフィルタ、ダンパとセットでご使用ください。)		A-65084
ダンパ (粉じん用。パウダフィルタ、プレフィルタとセットでご使用ください。)		A-65078
ノズルアッセンブリ ※ 2		122512-4
ノズルアッセンブリ A (乾式用) ※ 2		122334-2
コーナークロス ※ 2		410306-2
ストレートパイプ ※ 2 (ストッパ 部品番号 451350-0、 ナベ小ネジ M4 × 20 部品番号 911138-5 ナベ小ネジはストッパをストレートパイプに固定するために使用します。)		192563-1
ベンディングパイプ ※ 2		197247-6
アンカーノズル (内径φ 28 mm のホース (カフス 22) を併用してください。)		192236-6
ラウンドブラシ ※ 2		191657-9
ジョイント H (日立工機製電動工具との接続用)		424009-2
紙パック (5 枚入) (紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清潔にゴミ捨てができます。 吸水はできません。)	乾いたゴミ用 (粉じん以外)	A-48430
	乾いた粉じん専用	A-49541
アクセサリバッグ (ホース、パイプなどの付属品をまとめて入れておくことができます。)		A-46040
スパイラルコードホース (石こうボードに最適)		A-65121
マックバックアダプタ		A-65115

※ 1：湿式でご使用になられる場合は、パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタをはずしてフロート、フロートケージを装着し、クロスフィルタ（部品番号：A-65090）または水用フィルタ（部品番号：A-65109）を併用してください。

※ 2：内径φ 38 mm のホースを併用してください。

別販売品のご紹介（電動工具との接続 1/9）

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

集じん機と電動工具の接続について

注

- ・ 消費電力が 1,050 W 以上の電動工具を「連動」で使用すると、本製品側プラグに規定値を超える電流が流れるため、「連動」では使用できません。本製品のプラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

吸込力調整ダイヤルと電動工具の消費電力の目安

ダイヤル No	1	2	3	4	5
電動工具の消費電力	1,050 W 以下	860 W 以下	710 W 以下	520 W 以下	380 W 以下

別販売品のご紹介（電動工具との接続 2/9）

[]：部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)	
穴 あ け	防じんボードトリマ 3706BSK		φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]	
	ボード穴あけカッタ (3706)	集じんカバー [A-34621]		
	ハンマドリル HR166D	集じんカップ [198361-1]		
	ハンマドリル HR242D、HR244D、HR2300、 HR2600、HR2601F、 HR2611F、HR2631F	集じんカップ [195049-4]		
	ハンマドリル (小型用 A) (HR161D、HR200D、 HR2011、HR2411、HR2413、 HR2421、HR1820、HR2400、 HR2510、HR160D)	吸じん装置セット品 (小型用 A) [192176-8]		
	ハンマドリル (小型用 B) HR1830F、HR162D、HR163D、 HR164D、HR165D、HR202D、 HR261D、HR262D、HR263D、 HR1831FT、HR2811F、(HR2021、 HR2230、HR2440/F、HR2441、 HR2450/F、HR2460/F、 HR2470F、HR1830FT)	吸じん装置セット品 (小型用 B) [193472-7]		
	ハンマドリル (大型用) HR3811、(HR3850、 HR3511、HR3520、 HR3520B、HR3850B)	吸じん装置セット品 (大型用) [192175-0]		フロントカフス 22 (標準付属品) [417765-1]
	吸じんハンマドリル HR2432、(HR2430)	カフス [414897-5]		
	ハンマドリル HR4002、(HR4011C)	集じんアタッチメン トセット品 穴あけ・ハツリ対応 [195741-2]		
	ハンマドリル HR4013C	集じんアタッチメン トセット品 穴あけ・ハツリ対応 [196534-0]		
	ハンマドリル HR5212C	集じんアタッチメン トセット品 穴あけ・ハツリ対応 [196860-7]		
	ハンマドリル・電動ハンマ HM0830、HM0871C、HM1111C、 HM1202C、HM1213C、HR3530、 HR3541FC、HR4011C、HR4002、 HR4013C、HR4030C、HR5211C、 (HM0860C、HR4000C、HR5001C)	集じんアタッチメン トセット品 ハツリ作業用 [196567-5]		
	電動ハンマ HM1812、HM1317C、 HM1500、(HM1810)	集じんアタッチメン トセット品 ハツリ作業用 [197149-6]		

別販売品のご紹介（電動工具との接続 3/9）

[]：部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)	
切 断	4 型カッタ (4104A)	ノズル [191548-4]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]	
	カッタ 4112	エルボジョイント 32 [192613-2]		
	カッタ 4109S 10 型カッタ (4110B/C) ALC 用カッタ 4116			
	スライドマルノコ 卓上マルノコ LS1510 を除く 充電式スライドマルノコ LS714D			
	卓上マルノコ LS1510	ジョイント 40 [JPA122274]		
	糸ノコ盤 MSJ401	ラバースリーブ 36-38 [A-30617]		フロントカフス 38 (別販売品) [417766-9]
	マルノコ盤 2701N (P) スライドマルノコ盤 LT610 パネルソー LT600 電子バンドソー (2114C)			
	マルノコ盤 2703	ジョイント 55 [192799-2]		
	防じんマルノコ KS5200FX と 5205FX を 除く全機種			
	充電式防じんマルノコ (5036D) (5026D/ 木工用)			
	防じんカッタ 4123KB			
	防じんカッタ 4103KBASP 4105KB、4105KC (4103KB)	エルボジョイント 32 [192613-2]		

別販売品のご紹介（電動工具との接続 4/9）

[]：部品番号

	適用電動工具 ()内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
切 断	電気マルノコ 5733SSP、5734S 電子マルノコ 5735C、HS6303 電子造作用精密マルノコ 5711C、HS6403	ダストノズル セット品 [196995-4]	フロントカフス 22 (標準付属品) [417765-1]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	電気マルノコ 5331/W、 (5731/W、5731S/SW、5730SP) 電子マルノコ 5332C/CW、5732C/W 電子造作用精密マルノコ 5310C、5710C	ダストノズル [A-47444]		
	電気マルノコ 5637BA/5837BA、 (5636BA、5836BA) 電子マルノコ (5638CBA/5838CBA) 電子造作用精密マルノコ (5617CBA/5817CBA) 充電式マルノコ HS630D	ダストノズル セット品 [194202-9]		
	充電式マルノコ HS470D、HS471D	ダストノズル セット品 [193742-4]		
	電気マルノコ 5834BA (5634BA、5635BA、 5835BA) 電子マルノコ (5608CBA、5808CBA、 5633CBA、5833CBA) 電子造作用精密マルノコ (5616CBA、5816CBA)	ダストノズル セット品 [194202-9]		
	電気マルノコ 5230 ※付属品のダストノズル使用 際切マルノコ 5840BA 内装直角マルノコ (5210L) 内装マルノコ 5241、(5240L) ※付属品のダストノズル使用 充電式マルノコ SS540D、(SS520D) ※付属品のダストノズル使用	ダストノズル [A-51817]		
	充電式マルノコ HS300D、HS301D			

別販売品のご紹介（電動工具との接続 5/9）

[]：部品番号

	適用電動工具 ()内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)
切 断	マルチツール TM3010CT	集じん アタッチメント [A-56889]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	マルチツール TM3000C	集じん アタッチメント [A-55186]	
	充電式マルチツール TM41D、TM51D	集じん アタッチメント [A-57118]	
	充電式マルチツール TM30D	集じん アタッチメント [A-60757]	
	充電式マルチツール TM40D、(TM50D)	集じん アタッチメント [A-55170]	
	充電式ボードカッタ SD100D、SD140D、 SD180D	ダスタコレクタ セット品 [A-60377]	
	充電式防じんマルノコ KS510D、KS511D	ダストカバー [198646-5]	
	防じんマルノコ 5205FXSP1、KS5200FX、 (5205FX) 充電式防じんマルノコ KS521D、(KS520D)	フロントカフス 22 (標準付属品) [417765-1]	
	ジグソー 4327、4329、JV0600K、 (4323、4325) 充電式ジグソー JV100D、JV101D		
	ジグソー 4350FT 電子ジグソー 4350FCT、 (4340FCT、4342FCT) 充電式ジグソー JV180D、(JV140D)	ダストノズル [417853-4]	
	充電式ジグソー JV142D、JV182D	ダストノズル [196747-3]	
	ジグソー (4304、4304T、4306) ※ 4304：製番 13141 4304T：製番 28561 以前は取り付け不可	ノズル [192547-9] + ラバースリーブ 18-21 [192202-3]	
	ジョイントカッタ PJ140D、PJ180D、 PJ7000、(3901)		

別販売品のご紹介（電動工具との接続 6/9）

[]：部品番号

	適用電動工具 ()内は生産中止モデルです。	アタッチメント	ホース (内径 mm × 長さ m)	
研 削 ・ 研 磨	集じんカバー付ディスクサンダ 9533BSK、(9526BSK) 電子コンクリートカンナ PC5001C ホイールサンダ 9740、9741		φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]	
	コンクリートカンナ (PC1100、PC9001) ベルトサンダ (9401、9402)	エルボジョイント 32 [192613-2]		フロントカフス 38 (別販売品) [417766-9]
	ベルトサンダ (9901)	ジョイント 32 セット品 [192519-4]		
	ベルトサンダ (9900B)	ジョイント 32 セット品 [192518-6]		
	100mm ディスクグラインダ GA4031、GA4032、GA4033、 GA4034、GA403D、GA404D、 GA407D、GA408D	カップタイヤ用 集じんカバー 100mm 用 [A-55158]		
	100mm ディスクグラインダ 9560CV、9533、9533B、9533BL、 9533BLA、9533L、9533CB、 9533BH、9533BSK、9539B	カップタイヤ用 集じんカバー 100mm 用 [A-52629]		
	125mm ディスクグラインダ 9535、9535B、9535CB、 9565CV、GA5010、GA5021C	カップタイヤ用 集じんカバー 125mm 用 [A-51029]		
	ベルトサンダ 9032	ダストノズルアッセンブリ [122652-8]		フロントカフス 22 (標準付属品) [417765-1]
	仕上サンダ (9045N)	ジョイント 22 セット品 [192520-9]		
	仕上サンダ (9036)	ラバースリーブ 18-21 [192202-3]		
	コンクリートカンナ PC9003、(PC9002) ベルトサンダ 9031、9911、9403、9404、9903 仕上サンダ BO3710、BO4900V、(BO3700) 防じんミニサンダ BO4555、BO4565 ランダムオービットサンダ BO5030、BO5041、(BO5021) 充電式ランダムオービットサンダ BO140D、BO180D オービタルサンダ 9046			
	125mm ディスクグラインダ 9535/B、GA5010、(9522、 9528/B、9544、9532) 125mm 電子ディスクグラインダ 9535CB、9565CV、 GA5021C、GA5041C、(9565C) (ダイヤモンドホイール使用時) 125mm 充電式ディスクグラインダ GA504D、GA508D	集じんアタッチメント [192618-2]		

別販売品のご紹介（電動工具との接続 7/9）

[]：部品番号

	適用電動工具 ()内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
研削・研磨	100mm ディスクグラインダ GA4031/4032/4033、 GA4034、9533 シリーズ、 9539B、 (9520・9526・9530 シリー ズ、9543、9553B) 100mm 電子ディスクグラインダ GA4041C、9533CB、 9560CV 100mm ディスクサンダ (9530S、9526BS、9520S) 100mm 充電式ディスクグラインダ GA400D、GA402D、 GA403D、GA404D、 GA407D、GA408D (ダイヤモンドホイール使用時)	集じんアタッチメント [198413-8]	フロントカフス 22 (標準付属品) [417765-1]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	180mm ディスクグラインダ GA7061F 180mm 電子ディスクグラインダ GA7011C、GA7020	集じんアタッチメント [194234-6] (ダイヤモンド ホイール使用時)		
	ディスクグラインダ (9500A/N/L/H) ディスクサンダ (9500HS/NS) (ダイヤモンドホイール使用時)	集じんアタッチメント [192212-0] + ラバースリーブ 18-21 [192202-3]		

別販売品のご紹介（電動工具との接続 8/9）

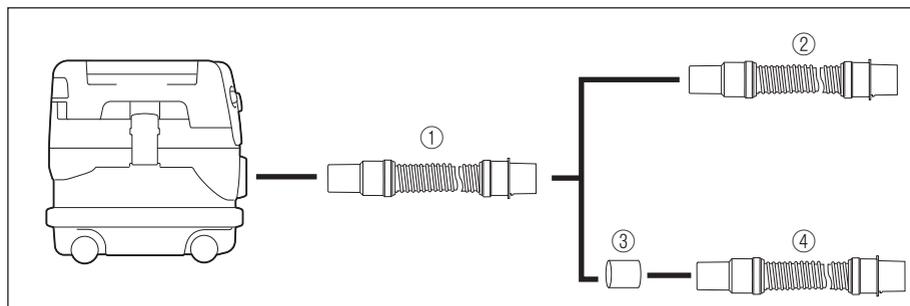
[] : 部品番号

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)	
カンナ	充電式カンナ (1050D)			φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]	
	電気カンナ	ノズル	ジョイント		
	KP0800A/SP、KP140D、 KP180D	[451329-1]	—		
	(1900BASP/SP1、1900B/ BA)	55-1 [181572-5]	ジョイント 55 アッセンブリ [JPA122275]		
	(1923H)	セット品 [192065-7]			
	1911B/SP	セット品 [194302-5]			
	(1004、1804/A、1805)	70-1 アッセンブリ [JPA122276]	ジョイント 70 [181575-9]		フロントカフス 38 (別販売品) [417766-9]
	1805NSP、 (1805C/SP、1805N)	70-2 アッセンブリ [JPA122277]			
	1804NSP、 (1804C/SP、1804K、 1804N)	70-3 アッセンブリ [JPA122278]			
	(1805B)	70-4 アッセンブリ [JPA122279]			
	(1824A)	70-5 アッセンブリ [JPA122280]			
	(1806B/SP)	70-6 アッセンブリ [122397-8]			
	KP312	セット品 [193733-5]			

	適用電動工具 () 内は生産中止モデルです。	アタッチメント		ホース (内径 mm × 長さ m)
面取り・溝切	小型ミゾキリ (3004A)	ジョイント [192387-5]	フロントカフス 22 (標準付属品) [417765-1]	φ 28 × 5.0 (標準付属品) [A-34229]
	小型ミゾキリ 3005BA	ジョイント [194287-5]		
	ルータ RP1801 電子ルータ (RP2301FC)	ダストノズル [194934-8]		
	ルータ (3612、3612BR/BRA、 3620/A、3608B) 電子ルータ (3612C)	ダストノズル [192035-6]		
	ルータ RP0910			

別販売品のご紹介（ホースの延長）

標準付属品ホースを延長する方法



- ① 口元ロック式 38mm ホース (2.5 m)
部品番号：A-33532
- ② 口元ロック式ホース全種類
(ただし、19mm ホース (5.0 m)
部品番号：A-34394 は不可)
- ③ 38mm ホースジョイント
部品番号：192204-9
- ④ 口元テーパ式 38mm ホース (2.5 m)
部品番号：A-34096

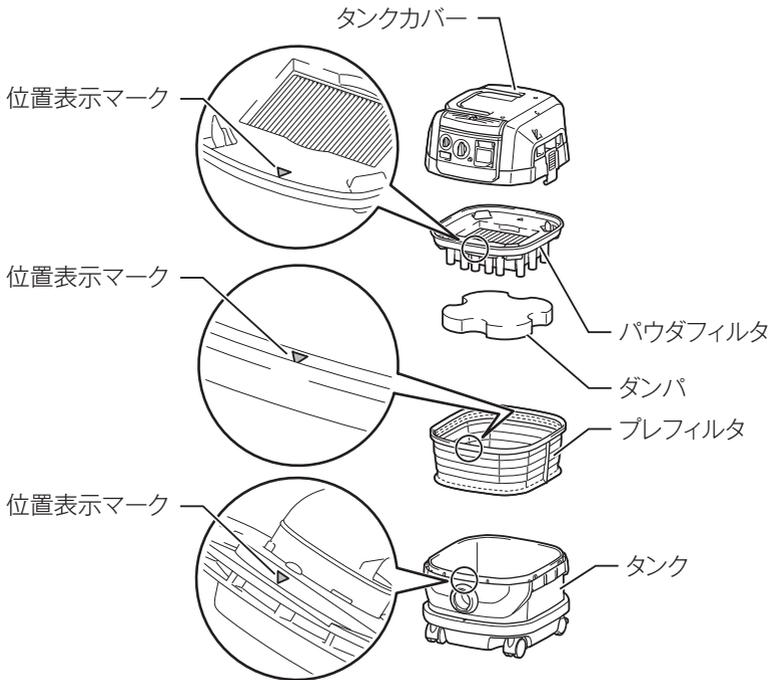
パウダフィルタの使い方 (1/4)

⚠ 警告

各種フィルタやポリ袋の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

パウダフィルタの取り付け方



1. タンクにプレフィルタを入れます。
2. プレフィルタの中にダンパを入れ、上からパウダフィルタを乗せます。
3. パウダフィルタ、プレフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けます。
4. タンクカバーを取り付けます。

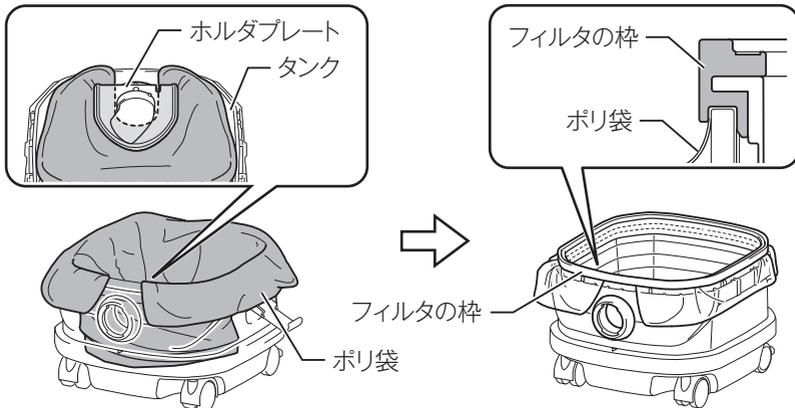
注

- ・ パウダフィルタ使用時は必ずプレフィルタとダンパを併用してください。パウダフィルタ単品では取り付けることはできません。

パウダフィルタの使い方 (2/4)

ポリ袋の取り付け方

- 本製品はポリ袋なしでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てがポリ袋を使用することにより手も汚れずに簡単に行えます。
1. ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をホルダプレートとタンクの間にはめ込み、タンクの口元まで引っ張ります。
 2. ポリ袋をタンクの口元にそって広げます。
 3. プレフィルタの枠がポリ袋をしっかりはさみ込むようにセットします。



注

- 市販品のポリ袋（45 L）が使用可能です。ただし、厚さ 0.04 mm 以上のものをおすすめします。また、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

パウダフィルタの使い方 (3/4)

⚠ 警告

粉じんを捨てる際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

パウダフィルタやタンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

粉じんの吸引量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日 1 回以上捨ててください。

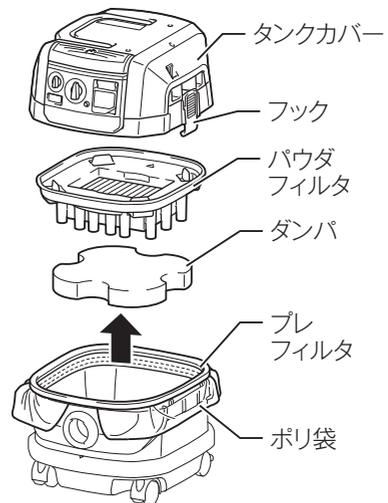
- ・ 吸引量の低下やモータの故障の原因になります。

タンクカバーをはずすときは、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

粉じんの捨て方

- ・ フックをはずしてタンクカバーを上方へ引き上げます。
- ・ パウダフィルタ、ダンパを取りはずしてからプレフィルタに付着した粉じんをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出してください。



注

- ・ 粉じんの溜まったポリ袋を本製品から取り出す際はタンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ポリ袋が破れる恐れがありますので、粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

パウダフィルタの使い方 (4/4)

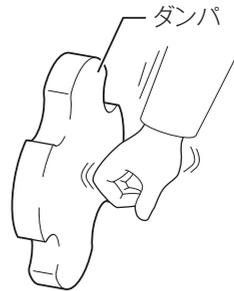
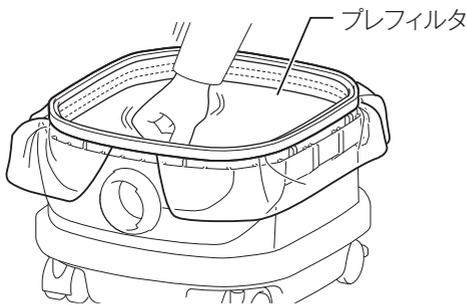
⚠ 警告

パウダフィルタのお手入れの際には、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

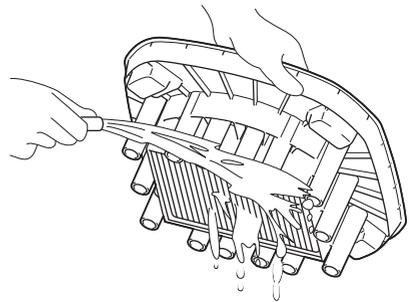
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

パウダフィルタのお手入れ

- ・ パウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、パウダフィルタなどに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
- ・ ちり落としの方法はプレフィルタ、ダンパを手で軽くはたいてください。



- ・ パウダフィルタは水洗いができますので定期的 (1 ~ 2 ヶ月ごと) に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はパウダフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでパウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパをこすってキズを付けないようにしてください。
- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。

ホースの取り付け方

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

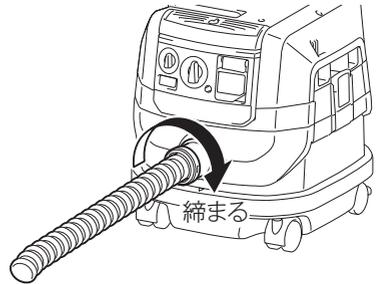
- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

カンナくずやコンクリート片など、粉じん以外のゴミくずを吸引される場合は、別販売品のホースコンプリート（内径 38 mm）を使用してください。

- ・ 付属のホースでは、ホース詰まりや損傷の原因になります。

ホースの取り付け方

- ・ タンク部のホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定してください。



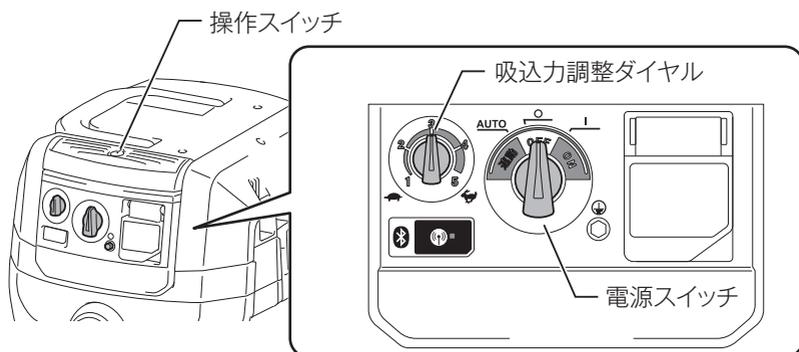
スイッチの操作 (1/3)

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

1. 電源スイッチを「ON (I)」の位置にします。
 2. 操作スイッチを押すと運転し、再び押すと停止します。
 3. 吸込力調整ダイヤルを回して吸込力の調整をすることができます。吸込力はダイヤルを右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
- ・ 電源スイッチを「OFF (O)」の位置にすると電源が切れます。



注

- ・ 吸込力調整ダイヤルは、目盛の範囲内で回してください。範囲を超えて無理に回すと故障の原因になります。

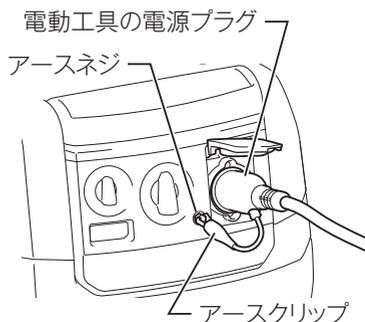
スイッチの操作 (2/3)

連動の手順

⚠ 警告

電動工具がシングル絶縁構造の場合は、アースクリップを必ずアースネジに接続してください。(アースクリップ付2ピンプラグの場合)

- ・ アースクリップをアースネジに接続しないと感電の原因になります。



電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、本製品および電動工具のスイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

⚠ 注意

連動用コンセントには吸込力調整ダイヤルによって規定の消費電力を超える電動工具は接続しないでください。

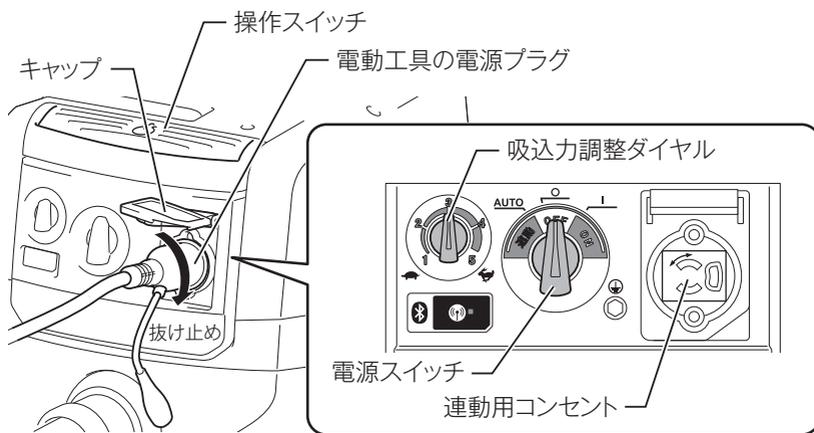
- ・ コードの異常発熱や本製品の故障の原因になります。

スイッチの操作 (3/3)

1. キャップを開いて電動工具の電源プラグを連動用コンセントに差し込みます。
2. 電源プラグを右へ回して抜け止めをします。
3. 電源スイッチを「連動 (AUTO)」に設定します。
4. 吸込力調整ダイヤルを電動工具の消費電力に合った位置に設定します。(下表を参照してください)
例 1 : 吸込力調整ダイヤルが 1 のときは 1,050 W までの電動工具と連動させて使用することができます。
例 2 : 吸込力調整ダイヤルが 5 のときは 380 W までの電動工具と連動させて使用することができます。

ダイヤル No	1	2	3	4	5
電動工具の消費電力 (目安)	1,050 W 以下	860 W 以下	710 W 以下	520 W 以下	380 W 以下

5. 電動工具のスイッチを「ON/OFF」すると、本製品が連動して「運転・停止」します。
 - ・「連動 (AUTO)」に設定時でも、本製品の操作スイッチで「ON/OFF」ができます。



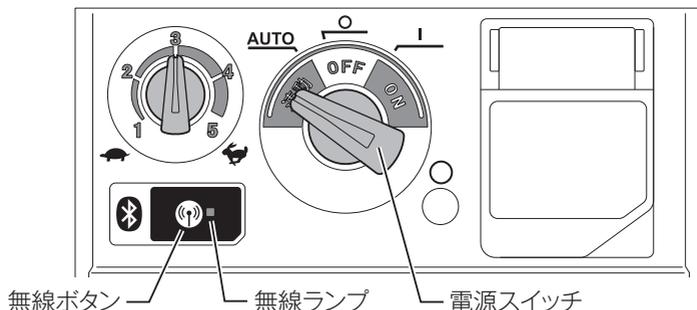
注

- ・ ホース内のゴミを吸い込むため、電動工具のスイッチを切った後も本製品は数秒間運転し停止します。
- ・ 電動工具の電源プラグを抜くときは、電源プラグを左へ回して抜け止めを解除してから抜いてください。
- ・ 使用後は、スイッチを必ず「OFF (O)」にしてください。

無線連動機能（1/7）

別紙「簡易マニュアル」と工具の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ・ 無線連動機能を利用するには、ワイヤレスユニットが搭載されたマキタ製工具と集じん機が必要です。
- ・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



無線連動の準備

1. 集じん機の電源スイッチを「連動 (AUTO)」の位置にして電源を入れます。集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。「OFF (O)」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

無線連動

1. 無線連動させる工具には、以下のどちらかを行います。
 - ①工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に機器登録をする。(35 ページ参照)
 - ②機器登録をしたワイヤレスユニットを取り付ける。
2. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

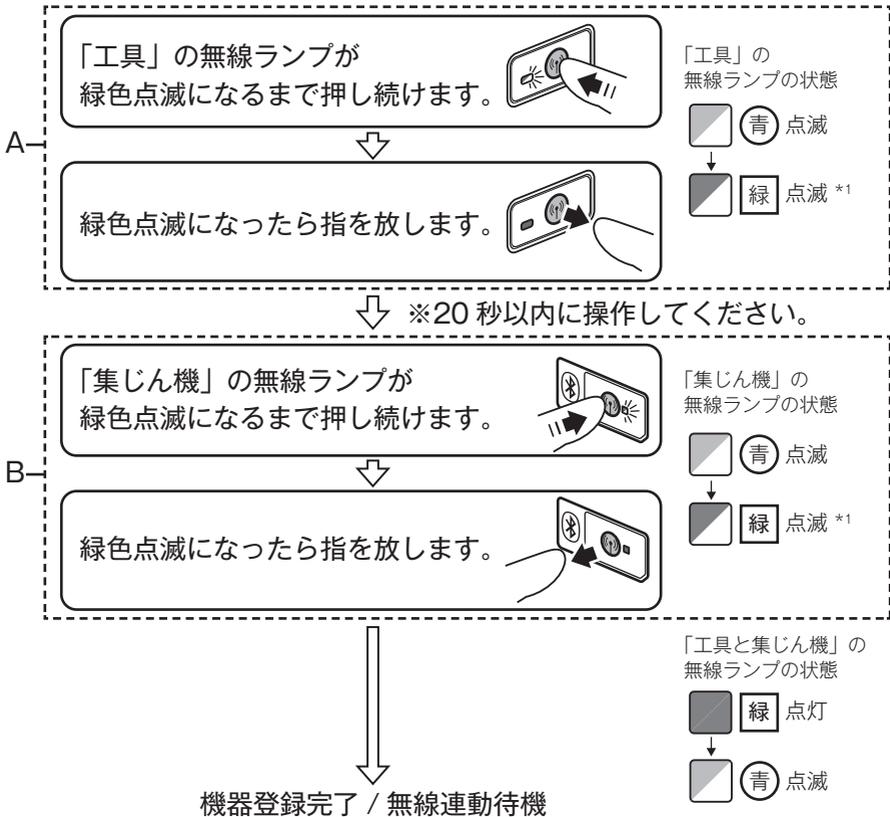
注

- ・ 電源スイッチが「連動 (AUTO)」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの運転 / 停止はできません。
- ・ 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- ・ 工具のスイッチを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。

無線連動機能 (2/7)

機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします。(34 ページ参照)



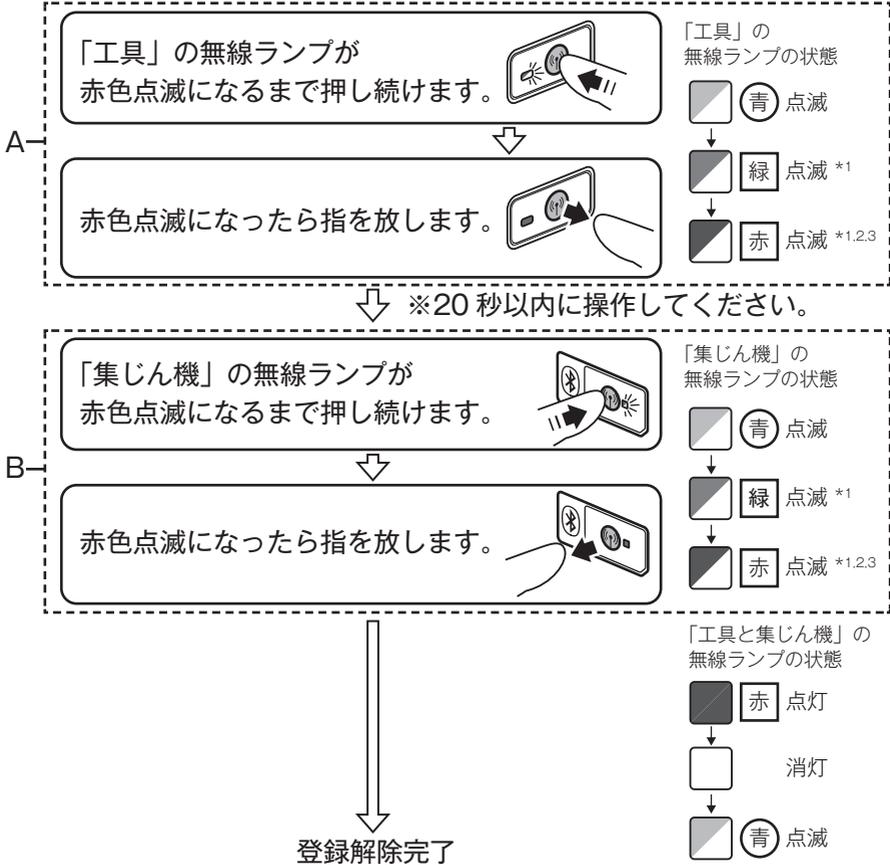
注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- *1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

無線連動機能 (3/7)

登録解除

- ・ 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします。(34 ページ参照)



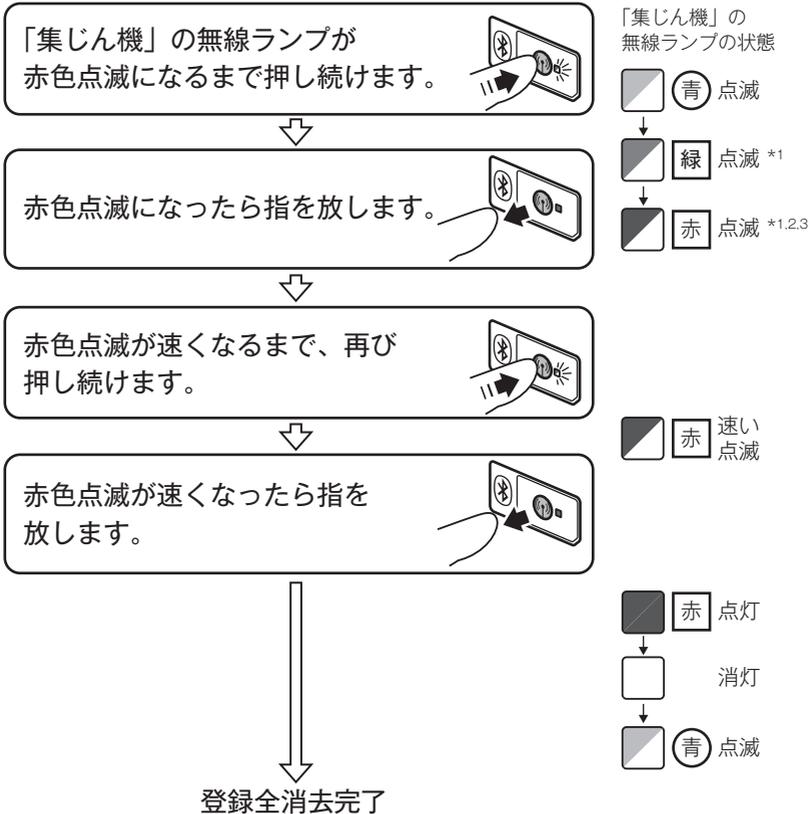
注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください。(青色点滅に戻ります。)
- ・ *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線連動機能 (4/7)

登録全消去

- 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- 操作は集じん機のみで行います。
- 操作前に無線連動の準備をします。(34 ページ参照)



注

- *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください。(青色点滅に戻ります。)
- *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線連動機能 (5/7)

無線ランプについて

基本モード	色	点灯 / 点滅と継続時間		状態
待機	青	点滅	集じん機： 連動 (AUTO) 時	機器登録の待機中です。
			工具： 電源を入れ、無線ボタンを押したとき	
			機器登録の完了後	無線連動の待機状態です。
		工具：約 2 時間	無線連動機能が利用できません。 無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能が停止します。	
		点灯	運転中のみ	無線連動機能中です。
機器登録	緑	点滅	約 20 秒間	機器登録の準備中です。 登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		点灯	約 2 秒間	機器登録が完了しました。 その後、青色の点滅になります。
登録解除・登録全消去	赤	遅い点滅 (2 回 / 秒)	約 20 秒間	登録解除の準備中です。 登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		早い点滅 (5 回 / 秒)	赤色の点滅後に、 再び無線ボタンを 押し続けたとき	登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。
		点灯	約 2 秒間	登録全消去が完了しました。 その後、青色の点滅になります。
その他	赤	点灯	約 3 秒間	無線連動機能の起動中です。
	消灯	—	—	無線連動機能が停止しています。

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

無線連動機能 (6/7)

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒10ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。⇒工具の取扱説明書参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動(AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動(AUTO)」にしてください。⇒34ページ参照
		共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。 バッテリーの容量が少ない。
	機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。
ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。			ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
集じん機		集じん機のスイッチが「連動(AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動(AUTO)」にしてください。⇒34ページ参照
		共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。 操作手順の間違い。
共通		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください。(最大通信距離は約10m。周囲の環境によって変化します。)
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・機器登録⇒35ページ参照 ・登録解除⇒36ページ参照
共通		集じん機、工具の片方みの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
その他		周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

無線連動機能 (7/7)

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒10ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動(AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動(AUTO)」にしてください。 ⇒34ページ参照
		集じん機の機器登録が10台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・機器登録⇒35ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・機器登録⇒35ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください。(最大通信距離は約10m。周囲の環境によって変化します。)
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。
その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。	
工具のスイッチを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒36ページ参照 ・登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・登録全消去⇒37ページ参照 ・機器登録⇒35ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行ってください。⇒37ページ参照
	集じん機	スイッチが「連動(AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動(AUTO)」にしてください。 ⇒34ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒37ページ参照

- ・上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

付属品の使い方 (1/2)

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

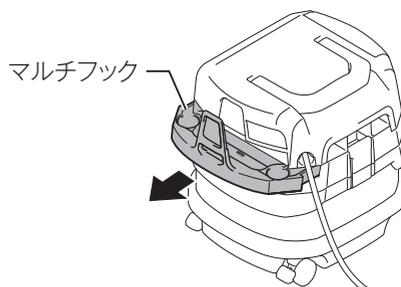
⚠ 注意

マルチフックを閉じる際に指をはさまないように気をつけてください。

- ・ けがの原因になります。

マルチフックの使い方

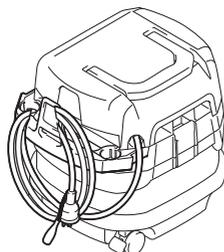
- ・ マルチフックを使用するときは、矢印の方向に引き出します。



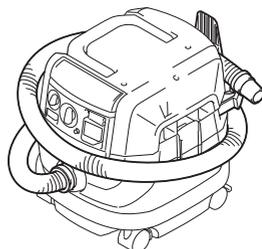
注

- ・ マルチフックには過度の力を加えないでください。マルチフックの破損の原因になります。使用しないときは閉じてください。

収納例



電源コードの収納例



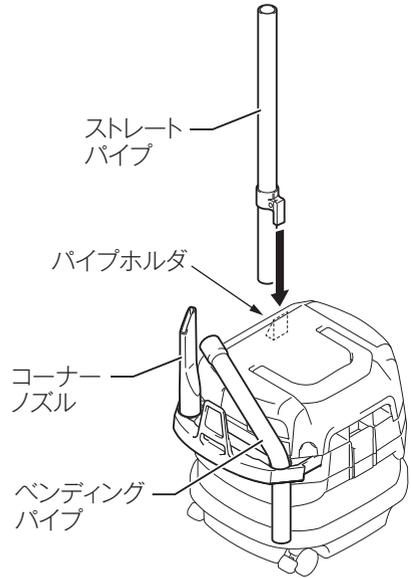
ホースの収納例

注

- ・ 電源コードを巻いた状態で集じん機や連動コンセントに接続した工具を使用しないでください。電源コードを損傷することがあります。

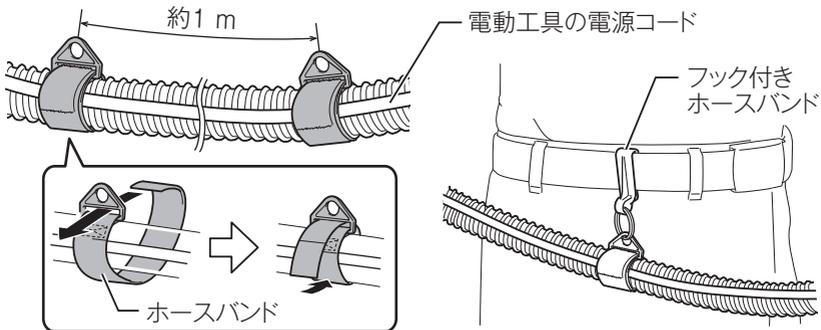
付属品の使い方 (2/2)

- ・ コーナーノズルやストレートパイプ、ベンディングパイプが収納できます。



ホースバンドの取り付け方

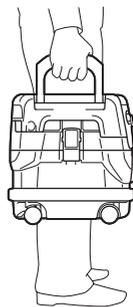
- ・ 本製品を電動工具と連動させて使用する場合、ホースと電動工具の電源コードがからまないように、付属のホースバンド (2 個) とフック付きホースバンド (1 個) を利用して約 1 m の間隔で固定してください。フック付きホースバンドをベルトなどに引っかけて、作業時のホースの重みを軽減できます。



運搬

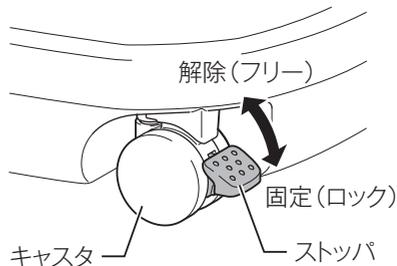
取っ手の使用方法

- ・ 運搬・移動する場合は、図のようにヘッド部の取っ手を持って行きます。取っ手を使用しない場合はヘッド部に収納できます。



キャスタの固定・解除

- ・ キャスタのストッパを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、ストッパを上げます。
- ・ 本製品を収納する場合、作業を中断する場合、作業中など、本製品の動きを止めておきたい場合に便利です。
- ・ ストッパの操作は手で行ってください。



注

- ・ 本製品を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

別販売品の取り付け方（1/3）

⚠ 警告

クロスフィルタや水用フィルタの取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

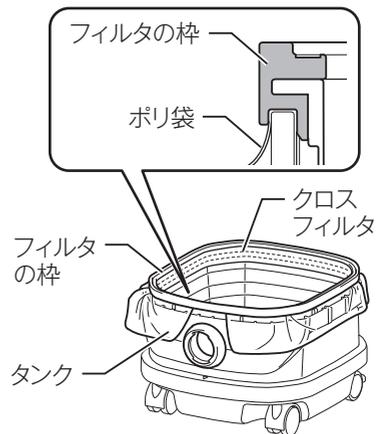
- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

湿式でご使用になられる場合は、フロート、フロートケージを装着し、クロスフィルタ、または水用フィルタを併用してください。また、フロートケージとフロートの取り付けは、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

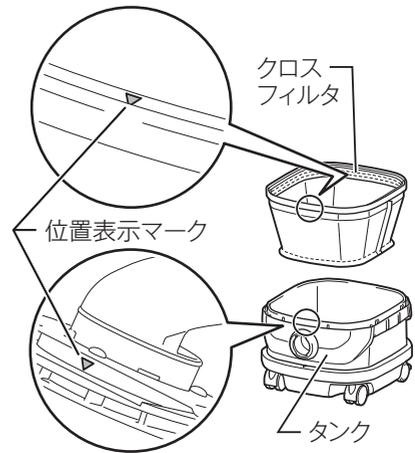
クロスフィルタの取り付け方

- ・ クロスフィルタをタンクに取り付ける際は、クロスフィルタの枠がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。



別販売品の取り付け方 (2/3)

- クロスフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。

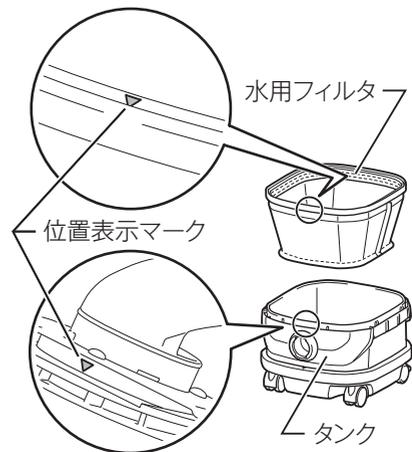


注

- クロスフィルタは乾湿両用フィルタですので、吸水時にも取りはずさないでください。ただし、繰り返し大量に吸水する場合はクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。
- 紙パックを使用するときは、クロスフィルタを併用してください。

水用フィルタの取り付け方

- 繰り返し大量の吸水をする場合は、クロスフィルタの代わりに水用フィルタを使用してください。
- 水用フィルタをタンクに取り付ける際は、水用フィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。
- 水用フィルタは位置表示マークを合わせて取り付けてください。



別販売品の取り付け方 (3/3)

⚠ 警告

紙パックの取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

紙パックを使用するときは、付属品のパウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタのほかに、別販売品のクロスフィルタを併用してください。

- ・ 紙パックが破損したとき、モータにゴミが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

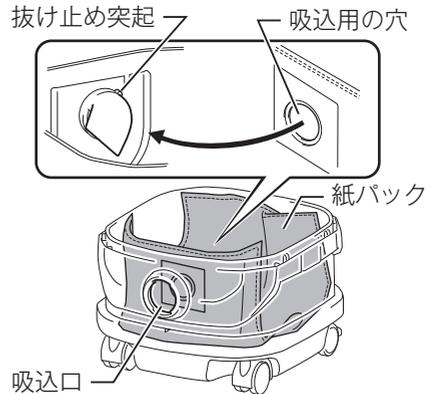
⚠ 注意

紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

- ・ 破れる原因になります。

紙パックの取り付け方

1. 紙パックを広げます。
2. 紙パックの吸込用の穴を本製品の吸込口に合わせます。図の矢印方向へ、紙パックのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるように、しっかり差し込んでください。



⚠ 警告

お手入れの際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布が薄めた中性洗剤を含ませた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管場所について

- ・ 保管する際は、電源プラグを電源コンセントから抜いて保管してください。
次の場所には保管しないでください。
 - × お子様の手が届いたり、持ち出せる所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 軒先など雨がかったり、湿気のある所

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881B73A2
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)